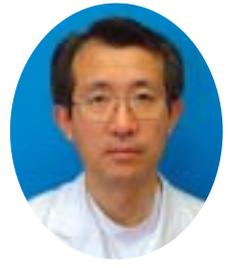




那須南病院だより

No.4
2008.2

〒321-0621 栃木県那須烏山市中央3丁目2番13号 TEL.0287-84-3911(代)



病院長
関口 忠司

今回は「医療の連携」を話題にしたいと思います。

皆さんはかかりつけの先生を持たれていますか？過去の病気を理解してくれて、家族の様子も仕事の様子も大まかに分かってくれて、体調を崩した時はもちろん、健康診断の結果を説明してもらったり、健康問題一般に関して頼れる身近なパートナーといったところでしょうか。

その先生を軸に、様々な専門的医療が必要となった時に病院を受診して頂くと、病院の先生にとっては、過去のデータなどが入手でき、検査などに絞り込みをかけ無駄や身体的負担の少ない診療をすることができて助かります。当院のような市中病院で完結できないような治療に関しては、今度は病院の医師が、大学病院など高度専門医療機関に紹介状を書いて、検査の重複を

避け、早期に有効な治療への橋渡しをすることになります。

反対に、高次医療機関から地域の病院、地域の病院からかかりつけの先生へと紹介することを「逆紹介」といいます。逆紹介により、遠くの病院には間隔をあけて通院すればよく、身近なところで、高次医療機関での治療の内容をふまえて継続的に日々の診療をしてもらえるメリットがあります。

「紹介」、「逆紹介」がうまく機能すると、高度な器械を持つ病院が、地域の先生で十分対応できる病気で機能不全に陥ることもなくなり、患者さんにとっても数時間待つて3分診療ということも改善されるなど良いこと尽くめです。

病院と地域の先生との間だけでなく、内科のかかりつけの先生から、整形外科や、婦人科などを専門とする開業の先生の治療を受けに行く時に紹介状をもらっていくと、同じ薬が重複して処方されたり、一緒に飲んではいけないうえに、アレルギー体質や、過去の病気の

情報を共有してもらえないことになりません。この場合の「逆紹介」はかかりつけの先生が皆さんの体に関する全ての情報を交通整理できる立場に立つてもらえることになり安全の上からも重要です。

病院勤務医が全国的に足りなくなつて、診療科の休診や、病院の閉鎖までがニュースで飛びかっています。一寸した体調の変化でも、先ず病院でという行動パターンも勤務医を疲弊させてきた一つの要因です。但し、病院に通わなければならぬ人が病院にかかれないということではありませんが、誤解のないようにお願いします。

先ずはかかりつけの先生に診てもらってからという皆さんの一寸した受診行動の変化で、WHOにより世界一の医療と評価されている日本の医療制度をこれからも維持できるようにしようではありませんか。後期高齢者医療制度の中にはこのような仕組みも組み込まれるようです。

病院の理念

私たちは、患者の皆様にも良質で安全な医療を提供し、地域社会に貢献します

基本方針

1. 地域の基幹病院として医療機関との連携の基に救急医療、専門的医療など地域の求める医療を行います。
2. 診療情報の的確な提供及び説明と同意に基づく心の通った医療を行うとともに人権とプライバシーを尊重します。
3. 最新医療の研鑽に努め、医療水準の向上を図るとともに医療の安全性向上に積極的に取り組みます。
4. より良い医療を継続して提供するため、収益の確保と経費の節減を図り、合理的・効率的な経営に努めます。

心の共演・楽器演奏

医事課長

小川 祥一

小学生の時は、鼓笛隊。中学・高校・学生時代は、ブラスバンド。社会人になってからは、いかにべ流れ太鼓・ビックバンドといつも楽器・音楽と共に生活してきました。楽器も小太鼓、トランペット、ユーホニウム、クラリネット、フルート、和太鼓、そして現在はテナーサクソといった具合に渡り歩いてきました。

その中で何といっても和太鼓でのアドリブ、ジャムセッションでのアドリブ、ソロ、ハーモニー等、眼と眼を合わせながらの心と心が通い合ったセッションほど自己満足かもしれません。が気持ちよく演奏が出来たなと思います。

皆さんもどんな楽器でもいいです。一人ではなく何人かでの演奏にチャレンジしてみませんか。一人で練習するよりも長続きしますよ。

そうは言っても自分自身つい最近、ぐい飲みを持つ機会よりも楽器を持つ機会が減りました。

テナーサクソ、唇ともにしこしこ錆つたところがあるのかなと心配しています。でも楽器演奏は生涯の友として一緒に歩いていこうと思っています。

病院改修工事を行いました。

昨年十月末から本年一月にかけて屋上防水及び外壁改修工事を行いました。

屋上防水は、防水シートを貼り付け、電気設備、給水設備などの入組んだ所はウレタン防水で対応しました。

シート防水を施工することで、雨水がコンクリート内に浸透することによる劣化や雨漏りを防止します。また、シートには脱気孔が設けてあり、シート内の湿気を逃がす仕組みになっています。

外壁改修工事については、壁面を全て洗浄し、傷んだタイル約九千枚を張替えました。躯体に入った亀裂（クラック）や、壁面の浮き上がりはヒカッ工法や、ピンニング工法で補強し塗装面も塗り直しました。

また、正面玄関スロープに屋根を設けましたので雨天時などにご利用ください。



工事期間中は、振動や騒音、駐車場が狭くなるなど大変なご迷惑をおかけしましたが、ご理解、ご協力いただきありがとうございました。



● 内科の午後の診療を開始しました ●

平成19年11月から、内科の午後の診療を行なっていますので、はじめて内科を受診される場合などにご利用ください。受付時間、担当医師は本誌4ページに掲載してある「外来担当医一覧」のとおりですので、ご確認の上ご来院くださるようお願いいたします。

院内紹介 リハビリテーション科

リハビリテーションは日常生活動作が困難となった方々に対し、その動作能力の回復や残存機能を発揮するための支援を目的として実施します。リハビリテーションの適応となる疾患は多岐にわたり、脳血管障害（脳梗塞、脳出血など）による片麻痺、肺炎などの治療のための安静による体力や筋力の低下、骨折後やパーキンソン病など様々あります。



リハビリテーション科では、患者様がスムーズに家庭や社会へ復帰をしていただくためのお手伝いをしております。スタッフは理学療法士二名、助手一名です。

リハビリ室は、運動のできる大きなベッドや平行棒、階段や自転車などが設置されています。疼痛軽減のための温

熱療法や頸椎・腰椎牽引、電気治療などの物理療法も行っております。

リハビリというと「リハビリ室で歩く練習をする」というイメージがありますが、実際はベッドから「起き上がる」「座る」「車椅子に乗る」「食事をする」「着がえる」といったすべての動作が訓練、つまり「リハビリ」となっています。

もちろん状態に合わせた訓練内容や目標は変わっていきます。患者様やご家族の希望、要望を伺いつ



つ、主治医、看護師と相談をしながら進めております。



外科だより

外科診療でよく見かける虫垂炎についてお話しします。虫垂炎は、一般に「盲腸」といわれていますが、盲腸は虫垂が付いている大腸の入口のことをいいます。虫垂のある場所は、右の下腹部ですが、はじめは胃痛や嘔気・嘔吐などへソ上（へそ）に症状が表れます。このため、初期には胃腸炎等との見極めが難しいといえます。

重要なことは症状の変化を慎重にみることです。特徴的な症状の変化は、痛みの移動です。へソ上の痛みが徐々に右下腹部に移動し、歩いたり飛び跳ねたりすると右下腹部に痛みが響くようになります。こうなると超音波検査や腹部CT検査で虫垂の腫れが明らかになってきます。治療は、絶食にして腸を休ませること、化膿止めの薬（抗生物質）を使うことです。症状が良くならない場合には手術が

必要になります。

また、虫垂が破裂して腹膜炎になっている場合には初めから手術が必要になります。手術は、単に虫垂切除ですむものから腸切除が必要となるものまで様々です。術後の合併症は、虫垂炎の程度によって異なりますが、ひどい腹膜炎を合併した症例では、創が化膿したり腸閉塞を繰り返したりすることがあります。

（外科科長 笹沼英紀）



那須南病院外来診療担当医一覧

(平成20年2月1日現在)

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
内科 循環器科	8:30~11:30	関根 豊 大木基通	宮澤保春 森成正人	井上 真	宮澤保春 島田浩至	森成正人 島田浩至 小林敏博 (第1・3・5)
		島田浩至 畠山 征	熊田真樹 井上 真	関根 豊 宮澤保春	森成正人 畠山 征	熊田真樹 井上 真
	13:30~16:00	宮澤保春	原 健二	大木基通	熊田真樹	畠山 征
小児科	8:30~11:30	黒崎仁寛	黒崎仁寛		黒崎仁寛	黒崎仁寛
	13:30~15:30	特殊外来	黒崎仁寛		予防接種等 [隔週・要予約]	黒崎仁寛
外科	8:30~11:30	関口忠司 眞田幸弘	眞田幸弘 特殊外来	笹沼英紀 伊澤祥光	関口忠司 笹沼英紀	伊澤祥光
整形外科	8:30~11:30		長田伝重		星川淳人	稲見 聡
眼科	8:30~11:30	小出義博	小出義博	青瀬雅資	小出義博	小出義博
	13:30~15:00	小出義博	手術・予約	青瀬雅資	休診(手術)	小出義博
耳鼻咽喉科	8:30~11:30		後藤一貴			中島逸男
	13:30~15:30		後藤一貴			中島逸男
皮膚科	13:30~16:00			村田 哲		
泌尿器科	13:30~16:00			小林 実 又は 池田 仁		

*都合により担当医が変更、又は休診となることがあります。

*内科では、■以下の医師が初診外来です。

*眼科の火曜日午後は、手術又は予約のみとなります。*眼科の木曜日午後は、手術のため休診となります。

休診日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）

- ご来院の際は受診カードを必ずお持ちください。
- 毎月保険証及び老人受給者証等を確認しますので、忘れずにお持ちください。
- 救急の患者様は随時対応いたしますので、電話（☎84-3911）にてご連絡ください。

編集／情報管理・広報委員会 ホームページ <http://www.nasuminami-hosp.karasuyama.tochigi.jp>

編集後記

昨年十月に始まった大規模修繕工事が無事終わりました。建設現場の方々のアイディアやチームワーク、作業手順などは病院にも通じることがありましたので誌面を借りて紹介したいと思います。

まず、作業現場での安全確認や責任者を明確化することによる事故防止対策です。病院でも安全対策は最重要課題の一つであり、医療安全対策を策定し、その中で医療行為や医療機器の取り扱い手順を整備し医療事故防止に取り組んでいます。

次に、困難な作業に遭遇しても、分野ごとの専門技術者による工程会議などで検討することにより、施主が安心して工事を見守れることです。病院では医師や看護師をはじめ、薬剤師、理学療法士などの専門職による検討会（カンファレンス）を通じて患者様やご家族が安心できる最善の医療を提供しています。業種の違いこそあれ、目指すものは同じ「安全」、「安心」の提供だと感じました。